

2023年10月18日
企業会計基準委員会
米国財務会計基準審議会

企業会計基準委員会と米国財務会計基準審議会の代表者による定期会合の開催

企業会計基準委員会（ASBJ）と米国財務会計基準審議会（FASB）の代表者は、2023年10月17日及び18日に、東京で会合を開催しました。この会合は、高品質でグローバルな会計基準の開発へ向けて連携を深めるために、ASBJとFASBが定期的に行っているもので、今回で33回目となりました。

今回の会合では、ASBJ及びFASBの代表者は、お互いの活動の最新の状況を確認するとともに、両基準設定主体が共通の関心を有している項目である暗号資産及び損益計算書における費用の分解等について議論を行いました。

ASBJとFASBは、引き続き意見交換を続けていく予定であり、次回の会合は2024年の後半にノーウォークで開催する予定です。

川西 安喜 ASBJ 委員長は次のように述べています。

「我々は二者間会合を東京で開催できたことを大変嬉しく思っており、特にリチャード・ジョーンズ氏が FASB 議長として初めて日本を訪問されたことを歓迎します。今回の会合では、市場環境の急速な変化に対応した論点を含む幅広い論点について意見交換を行うことができました。この二者間会合は常に実り多いものであり、今後もこの関係を継続し、強化していくことを期待しています。」

リチャード・ジョーンズ FASB 議長は次のように述べています。

「FASB は、それぞれの利害関係者にとって重要なトピックに関する ASBJ との会合から、継続して大きな価値を得ています。我々の対話は、FASB に発生した及び既存の財務報告上の論点に対する潜在的な会計上の解決策に関する新たな洞察を提供し、FASB による投資家が資本配分の意思決定に使用する情報を提供する基準の開発に役立っています。東京にお迎えいただき、今回も魅力的で有意義な議論ができたことについて、川西 ASBJ 委員長並びに ASBJ の委員及びスタッフに感謝いたします。」

企業会計基準委員会（ASBJ）について

企業会計基準委員会（ASBJ）は、2001年7月に公益財団法人財務会計基準機構（FASB）の下に設立されたプライベート・セクターの機関です。ASBJが開発した会計基準は、金融庁により日本において一般に公正妥当と認められた企業会計の基準として認められることとなります。ASBJは、企業が活動している環境を適切に反映した会計基準及び適用指針を開発しています。ASBJは、海外の会計基準設定主体とコミュニケーションを取り、グローバルな会計基準の開発に貢献しています。ASBJに関する詳細な情報は、ウェブサイト（<https://www.asb.or.jp/jp/>）をご参照ください。

米国財務会計基準審議会（FASB）について

FASBは、1973年に設立された、一般に認められた会計原則（GAAP）に従う公開企業、非公開企業及び非営利組織のために財務会計及び財務報告の基準を設定する独立の民間の機関であり、コネチカット州ノーウォークに拠点を置いています。FASBは、米国証券取引委員会（SEC）により、公開企業のための指定された会計基準設定主体として認識されています。FASBの基準は、各州の公認会計士審査会及び米国公認会計士協会（AICPA）を含む、その他の多くの組織により権威のあるものとして認識されています。FASBは、投資家その他の財務報告書の利用者に有用な情報を提供する財務報告を促進することを意図した、透明性があり、誰でも参加できるプロセスを通じて、財務会計の基準を開発し、公表しています。米国財務会計財団（FAF）は、FASBの支援及び監督を行っています。詳細な情報は、ホームページ（www.fasb.org/）をご参照ください。